

竹田総合福祉センター

悠々居



社会福祉法人 偕伴社

令和6年7月1日

第 148 号

- 特別養護老人ホーム悠々居
 - 悠々居ショートステイ
 - 悠々居デイサービスセンター
(共生型生活介護)
 - 悠々居ヘルパーステーション
 - 悠々居ケアプランセンター
 - こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」
 - 悠悠ヘルパーステーション
 - 悠悠ショートステイ
 - 竹田地域高齢者相談支援センター
 - 竹田市高齢者生活支援ホーム
〒878-0007 大分県竹田市大字三宅1763-1
- 発行責任者 吉岡 暁 督
電話 (0974) 63-3201 (代)
FAX (0974) 64-0101
Mail yuyukyo@song.ocn.ne.jp



も < じ

ホームカメラさんぽ2・3
悠々居デイサービスセンター
(共生型生活介護) 4
こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」… 5

看護部だより 6
給食部だより 7
長寿万歳 8
善意の輪 8
編集後記 8

★利用状況 (男) 15名 (女) 69名 計84名
★平均年齢 91.1歳 (令和6年7月1日現在)

ホームカメラ さんぽ

4月《灌仏会》



お釈迦様の誕生日をお祝いし
甘茶を頂きました。

5月《母の日行事》



6月《父の日行事》



「今日は特別にノンアルコールで乾杯」

祝 百歳

渡邊 ヒデコ 様

大正 13 年 6 月 28 日生



ばあちゃんおめでとう。
これからも体を大事に元気で
いつまでも長生きして下さい。

(長男より)



インドネシアから外国人技能実習生が勉強に来ています



KETUT ADI SURYAWAN
ケトゥ アディ スルヤワン
《呼び方》 アディさん



NYOMAN ALDI HANDREY ASTAWAN
ニョマン アルディ ハンドレイ アスタワン
《呼び方》 アルディさん

新入職員紹介



介護職員
まさと
阿南 誠人



初めて介護の仕事をする。
頑張りますのでよろしくお願いします。

悠々居 デイサービスセンター

共生型
生活介護

デイサービス1日のながれ

8:15~9:40	お迎え
到着後	お茶飲み
9:40~12:00	自由時間・機能訓練 ①血圧・体温測定 ②入浴 ③低周波治療機
12:00~13:45	昼食（悠々居調理員手作り）・昼休み（自由）
14:00~14:50	アクティビティサービス（グループワーク） 機能訓練
15:00	お茶飲み（おやつ付き）
15:50	送り



新人職員紹介



衛藤 忠文

認知対型、リハビリセンターと渡り歩き
4月から悠々居デイサービスセンターで働かせていただいています。
共生型のデイは初めてですが先輩職員の御指導をうけ、利用者に喜んで頂けるよう努力したいと思います。
宜しくお願いします。



こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」

～児童発達支援・放課後等デイサービス～

《活動プログラム》 5領域 発達支援



- ①健康・生活
健康状態の把握、リハビリテーションの実施
- ②運動・感覚
姿勢と運動、動作の向上、保有する感覚の統合的な活用
- ③認知・行動
認知の発達と行動の習得
- ④言語・コミュニケーション
人との相互作用によるコミュニケーション
- ⑤人間関係・社会性
他者との関わりの形成、自己理解と行動の調整、仲間づくりと集団参加

こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」は、平成12年の10月に開所し今年で24年目を迎えます。これまで支援させていただいた児童数約200人以上。今後も長く愛され、必要とされる支援を目指し関わるお子様との絆を深めて行けたらと思います。「ゆうゆう」のスタッフは、保育士、児童指導員、指導員、言語聴覚士、児童発達支援管理責任者、公認臨床心理士、音楽療法士がいます。専門のスタッフと日々話し合いながらお子様一人一人との時間を大切に過ごします。来所されるお子様の多くが、発達に凸凹があります。利用が始まった利用児に支援者が個々の状況を把握していきます。苦手や困難なところにそっと寄り添いながら、通園する中で計画を立てて少しずつ克服できるように支援しています。保護者にも寄り添い子育てを応援します。地域とのつながりも大切にして、学校や関係機関とも連携をしていきます。支援は保育士が中心に月事のスケジュールを準備し6領域の内容に対応した支援を目指しています。

4月
入学・進級で桜でお出迎え



5月
今年度利用する仲間たち



6月
カラフルなアジサイの花で梅雨夏を迎えます



児発 トマト植え



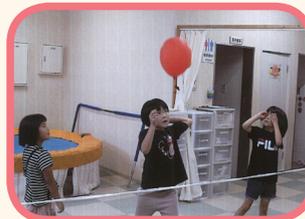
児発 イモ植え



放課後等デイ 外遊び



放課後等デイ 室内ゲーム



新人職員紹介

佐藤麻理



4月からこどもデイサービスの保育士として入社しました。今まで経験したことのないことばかりですが、勇往邁進して取り組む所存です。一日でも早く戦力となれるよう一生懸命精進してまいります。

首藤優子



長年保育に携わってききましたが、療育は初めてです。自分の子どもも言葉が遅いので、ここで学んだことを生活にいかしていきたいです。たくさんのお話を吸収して人の役に立てるように成長できたら良いと思います。よろしくお願いいたします。

今年も猛暑の夏 熱中症から身を守りましょう

【熱中症とは】

熱中症とは、高温多湿な環境に、私たちの身体が適応できないことで生じるさまざまな症状の総称です。いつでもどこでもだれでも条件次第で熱中症にかかる危険性があります。

【熱中症を引き起こす主な3要素】

環境：気温の高さ・湿度の高さ・風邪の弱さ など

からだ：乳幼児・高齢者・体調不良・暑さに慣れていない など

行動：激しい運動・慣れない運動・長時間の屋外作業 水分補給ができない状況 など

【症状】

以下のような症状が出たら、熱中症にかかっている危険性があります。

- めまいや顔のほてり
- 体のだるさや吐き気
- 汗のかきかたがおかしい
- 体温が高い、皮ふの異常
- 呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない
- 水分補給ができない
- 筋肉痛や筋肉のけいれん（※全身のてんかんと間違えないよう注意して様子を確認してください。）



意識の遠のき



めまいや立ちくらみ



筋肉痛や手足のけいれん



体のだるさや吐き気

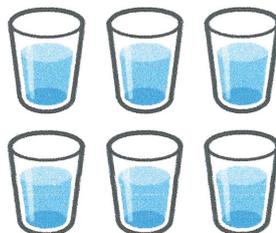
【熱中症予防対策】

環境調整：エアコンを上手に使いましょう

- ・適切な室温設定
- ・除湿機能が効果的な場合あり
- ・扇風機や換気扇を併用
- ・使用中もこまめな換気を
- ・カーテンやすだれを使用し、直射日光を遮断

こまめな水分・塩分補給をしましょう

1日あたり
1.2ℓ(1.2リットル)を
目安に



コップ約6杯

- 1時間ごとにコップ1杯
- 入浴前後や起床後もまず水分・塩分補給を



※水分や塩分の摂取量は
かかりつけ医の指示に従いましょう。

【衣服の調整】

暑い時は屋外に出ず、涼しい朝方・夕方に屋外へ短時間でかけましょう。

行事食写真紹介

母の日行事

令和6年5月11日



父の日行事

令和6年6月15日



食のコラム

～睡眠の質を高める食べ物～



健康的な毎日を過ごすために欠かせない「質の良い睡眠」、いわゆる快眠は「食事」によってもコントロール出来るのだとか…。睡眠の質を高めるためには、トリプトファンを摂取すると良いとのこと。トリプトファンとは牛乳から発見されたアミノ酸で、肉や魚、豆腐や納豆などの大豆製品、チーズや牛乳などの乳製品、卵やナッツ類、バナナなどに豊富に含まれているそうです。これらの食材を、朝食のメニューに意識して取り入れると、特に効果があるのだそうです。また、揚げ物や脂身の多い肉、ラーメンなどの消化に時間がかかるもの、漬物などの塩気のあるもの、レモンなどの酸味の強いもの、ケーキなどの甘いもの、唐辛子などの辛みの強いものは胃酸の分泌を促進するため、夜遅くに食べる場合は避けた方がいいそうです。最近では、「睡眠の質向上」などの機能性表示食品も多く見られるので、上手に組み合わせてみるのもいいかもしれませんね。

睡眠の質を向上させ、健康的な毎日を過ごしましょう。

長寿万歳!



佐藤 シヅエ 様

昭和5年10月10日生 93才

シヅエ様は大野町で4人兄妹の4番目に生まれました。21歳の頃、千歳にお嫁に行き3人の子供に恵まれました。会社員をしていた御主人様と一緒に牛を育てたり、田んぼ作りをしていたそうです。現在は悠々居に入居して間もないですが、塗り絵、脳トレを楽しんだり、タオルたたみもしてくれています。好きな食べ物は肉だそうです。これからも穏やかに過ごして頂きたいです。



善意の輪

(令和6年3月16日)
令和6年6月20日現在

(敬称略)

● 物 品

白米30kg

・竹田市会々

● 現 金

・竹田市飛田川

・竹田市三宅

・竹田市竹田町

・豊後大野市朝地町

吉岡 幸二

木下 浩

阿南佐代子

高倉 和幸

渡邊 政秀

編集後記

令和6年になり早半年がたちました。能登半島地震により被災された皆様にとっては、長く不安な半年間だったのではないかと思います。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

自然災害や無くない感染症問題で疲弊している日本全体を元気づけてくれる事柄の一つとして、近年、スポーツ界における日本人選手達の活躍が挙げられるのではないのでしょうか？外国人選手との体格差も昔ほどではなくなり、さらにそれを凌駕する程の技術面の進化には目を見張るものがあります。やはり、そこには悔しい思いをしてきた先人たちが前向きに伝えてきた教訓が生きているのだと思います。被災地においても前回の被災地での反省点が教訓となり、対応改善に繋がっています。

どのような場面でも、私達全員に先人たちから伝えられてきたものがあり、そして後人に伝えていくものが必ずあります。今より未来が少しでも良くなるように、前向きに伝えていきたいものです。

(S・T)